

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 8 月 30 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社 リブネット		
事業所名	グループホーム かざぐるま		
所在地	福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	平成26年8月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502686-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年8月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者さんひとりひとりが役割を持ち、入居者さん主体の生活が送れるように力を入れています。入居者さんの生活の流れにスタッフは合わせ、家事すべてにおいては一連の流れを大切にし入居者さんとスタッフが一緒になって取り組めるようにしています。又、外出や入居者さんのしたいことを実行することにも力を入れています。年度の締めくくりに、1年間の目標の取り組みや反省、事業報告等を作成し、入居者さんのご家族に周知し、またスタッフ自身も1年間の振り返りにも生かしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の要望「観光地へ行きたい、お墓参りに行きたい、故郷が見たい」などあれば、利用者と職員と一緒に話し合い、要望を叶える取り組みをされ、利用者の笑顔に繋がっている。地域貢献への取り組みとして、事業所の催し物（夏祭り）を開催され、地域との繋がりを大切に、町内行事（秋祭りなど）の参加や日頃から散歩と買い物などへ出掛け、近隣住民との関わりを密に行い、日常的に交流をされている。職員も現状に満足することなく更なるサービスの質の向上を目指し「利用者の笑顔を見るために」日々の業務に精励している。利用者の生き甲斐、役割（着物の着付けや食事の準備、来客者への対応など）があり、職員は常に利用者寄り添いながら支援されている。管理者は、今年（H27.5）就任されたばかりであり、今後は職員から提案・要望が出やすい、働きやすい職場環境づくりに力を入れていきたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	家庭的な雰囲気の中で、仲間と一緒に思いやりと優しさで笑顔を大切にしたり、安らげる生活を目指すという理念に基づいて、笑顔で生活できるように取り組んでいる。	年明けには、代表者から今年を目指すべき一文字や方針の話がある。理念について意識が維持、向上できるように、年間・月間目標の設定により、具体的計画をつくりあげている。月1回の主任会議で評価・反省・見直しを行うことにより、日々実践することが習慣化されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパー（ハローズ等）へ毎日、食材を買いに行っている。又、近所の美容院や散髪屋さんに行っている。	事業所の敷地を活用され「夏祭り」を開催され地域の方々にも来訪して頂く取り組みをされている。町内行事の秋祭りの参加、近隣の大学やスーパーなどへ日常的に行かされている。手作りカレンダーを作成され、地域の商店などに配布されていた。他事業所とも交流され、行事などで行き来されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近所のお店（ガソリンスタンドやハローズや美容室）に入居者さんが作成したカレンダーを毎月、持って行き飾ってもらっている。ガソリンスタンドとレストランに毎月発行しているたよりを持って行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催している。	近隣の他事業所の参加もあり、2カ月に1回開催されている。事業所の取り組み状況を報告され、随時、参加者との連携を行い、地域との関わりをもち、その中で地域情報やアドバイスを頂き、利用者の支援および運営に繋げている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。	市担当者または地域包括支援センターの職員は、運営推進会議に参加されている。利用相談やサービス調整について連携を図り、困りごとなどあれば、市の担当者と密に連絡を取り、協力関係を築くようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。</p>	<p>内部・外部研修に参加し、身体拘束を行わないことが当たり前のケアということ職員全員で認識し、正しく理解されている。市や外部研修のアンケートなどを活用され、自己点検に努めている。職員は言葉や態度に気を付け、利用者に寄り添うことにより、拘束のないケアを日々実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者が学んでおり、必要な方には利用してもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず、必要ときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回（春・秋）に家族会を開催し、その中で家族との話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実践している。面会時には日頃の様子を話したり、サービス担当者会議では家族からのご要望を伺うようにしている。</p>	<p>利用者の要望を、叶える取り組みをしている。毎月請求時には、広報誌・職員からのコメントが送付されている。年2回、家族会を実施され、家族に対して年1回「アンケート」を実施している。寄せられた要望や意見については誠意を持って対応し、日々のケアに生かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月2回の主任会議、各ユニットでのミーティング、毎朝のミーティングの中で意見や提案等を話し合う場を設けている。</p>	<p>月2回の主任会議や各ユニットのミーティングなど常に管理者と職員との定期的な話し合いに加え、職員同士が話しやすい雰囲気である。管理者は前向きに意見を受け止め、運営に生かしていく工夫がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者の夏祭りやコンサートや勉強会に参加するなど交流している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえよう関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅や地域の祭りや花見などの地域行事に参加したり、帰宅したい時には帰宅出来るようにして家族の都合がつけば外泊できるようにしている。又、事業所に家族が宿泊されたり、電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>	<p>家族と相談しながら、「生まれ育った故郷、法事、祭り、娘のコンサート鑑賞」など行かれている。家族も宿泊することを可能とし、家族との交流を深めるようにホームとして環境調整している。要望などがあれば叶える取り組みをされ、以前との関係が途切れないように継続している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士で好きにしてもらっている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者さん同士が楽しみながら生活できるようにユニットに関係なく交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	長期入院の為退去した方へ入居者さんと一緒にお見舞いに行ったり、亡くなられた方への葬儀に参列している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握し、どうしたら実践できるかをいつも考え実行している。	日々の関わりや家族からの要望などで、一人ひとりの要望を把握できるように努めている。何事も利用者と職員が話し合いを行い、どうしたら実行できるかを常に考え、目的や目標設定を行い、介護計画に反映され実行に移している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話やサービス担当者会議で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティング時に全員で行うカンファレンス以外にも申し送りノートを使用したリ、少しの時間を利用し個々のスタッフの間でも意見交換をし少しでも多くの情報を反映出来るように取り組んでいる。</p>	<p>アセスメントの結果は適切なケアプランに生かされ、一定の期間で見直しを図っている。家族の意見や本人の思いを尊重し、本人の活動や役割を通して、日々の生活が楽しく、快適となるように具体的な介護計画を作成及び実施をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや催し物等の行事へ参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかるつけ医を利用している。</p>	<p>往診体制（週2回）、医療連携（週2回）、緊急時の連絡体制のこともあり、かかりつけ医については、ホームの協力医にお願いしている。治療経過の記録も「受診・往診ノート、申し送りノート」が活用され、きめ細やかな情報共有を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の看護師さんに、いつでも相談できるように体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院との連携を蜜にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所でできることを本人と家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように支援していく。</p>	<p>看取りの経験から、ホームとして看取りをする方針である。入居時に「看取りに関する同意書」により同意を得ている。終末期は、特に医療的なケアが必要なため、重度化やターミナルケアに向かう事例が出てきたら対応方針について、かかりつけ医や家族との話し合いをその都度重ねて対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的にスタッフ全員救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の職員指導の元に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との連携はとれていない。</p>	<p>定期的な訓練を行い、防災意識を高めている。同敷地内の事業所や同グループからの協力および連携体制が法人内で整備されている。事業所の夏祭りなどの開催や日頃から散歩や買い物など、地域の皆様と顔を合わす環境であるが、災害については地域との連携ができていない状況がある。</p>	<p>地域との連携ができていない状況があります。災害はいつ起こるかわからないため、いざという時の応援体制のことを踏まえ、今後は①運営推進会議での議題②運営推進会議時に訓練実施③近隣の他事業所との連携など、日頃から地域住民との連携が図れるような取り組みを望みます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用し入居者さんの尊厳を尊重するケアの重要性話し合い、実行している。	利用者の尊厳やプライバシーを守るため、研修の実施や事業所で「倫理規定、チェックシート」を活用し、意識づけをしている。「～しませんか」と選択肢を与える言葉掛けとし、利用者の目線に合わせた対応を心掛け、個々に合った支援および声掛けには十分気をつけた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かたら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服やを選ぶようにしている。理美容院に行きたい時に行けるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を一緒に決めてから、食材の買出しへ行っている。調理時には、各入居者さんの出来るところを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。	土日・祝日以外の月～金の昼食は、同建物にある厨房より副食（おかず）のみ提供がある。それ以外の調理は手作りで職員と一緒に食事づくりを楽しまれている。誕生日には、本人のリクエストに応えられるように努め、ケーキなどでお祝いをしている。時に外食で夜に近隣の居酒屋に行くこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。	一日の食事量、水分量は記録を見て全ス タッフが把握出来るようにしている。 個々の状態に応じて食べられない時には 食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援 助している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に声掛けを行い介助が必要な方には スタッフが誘導して行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして，トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、一人一人 に合わせた援助を心掛けている。	個々の排尿および排泄習慣を把握し、 声掛けや見守りトイレ誘導を行ってい る。自然排便を促す方法として、トイレ に座ることを基本としたケアに取り組ま れている。なるべく紙オシメなどに頼ら ないように自立支援に向けた取り組みに より、紙オシメから布パンツへ移行され た方もおられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲 食物の工夫や運動への働きかけ等， 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の間隔を把握し個々の状態により医 師の指導の元、下剤や浣腸の使用行っ ている。予防としては、水分摂取量に気 をつけている。腹部マッサージ等を取り入 れている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように，職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に，個々に応じた入浴の支援をしてい る。	入居者さんが入浴したい時に入浴をして もらっている。又、極力好きな時間に入 浴できるように援助しているが、対応の 難しい時間帯もある。	なるべく夜間帯に近づける取り組みと して、時間は16：00～19：00頃としてい る。午前中や毎日の入浴も可能とし、極 力好きな時間帯に入れるように希望に応 じて柔軟に対応している。少なくとも2 日に1回は入浴を行い、清潔保持に努め ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決まりはなく、入居者さんのリズムで生活している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋説明書を各入居者さんのカルテに閉じていつでもスタッフが確認できるようにしている。往診、受診時に聞いた注意事項に関しては、往診ノートに記入するようになっており、全スタッフが薬についての確認が出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みに合わせ買い物、外出、映画、娯楽等の趣味活動ができるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの希望、要望が分かったら即実行出来るようにスタッフに意識付けをしている。家族、スタッフとの外出、お墓参り等やりたいことを実現できるように努めている。</p>	<p>散歩や季節ごとの外出など希望を叶える取り組みをしている。他の事業所の催し物や地域の祭りにも行っている。観光地などへ出掛けたり、日常も近隣の商店などへ行き、外出を通じて地域の皆様との交流が図れるよう機会づくりに努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしておらず、各ユニットの事務所に金庫を設け管理しているが、使いたい時に使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。	利用者の方が動きやすいように、リビングにはあまり物品を置かないようにしている。ソファや椅子を適宜置き、一人でゆっくりと過ごせる環境を整えている。毎月、壁面には季節毎の飾り付けを行い、季節感の演出に工夫をされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの中の様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。	各居室は、十分のスペースが確保されている。使い慣れた家具や生活用品を自由に持ち込まれ、家族も寝泊りが可能としている。本人が安心して過ごせる場所となるように本人と家族と相談しながら工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂、トイレ等わかりやすいようにしている。		

V アウトカム項目 かがやき			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目 せせらぎ			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目 こもれび			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 平成 27年 9月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策における地域との協力体制が取れていない。	災害対策における地域との協力体制。	地域の行事（奉仕活動）等にも参加していく。防災訓練に地域の方にも参加していただき地域との協力体制をはかり、日頃から地域との連携を図って行きます。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。